

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	津山中央看護専門学校
設置者名	一般財団法人 津山慈風会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護	夜・通信	35単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページにて閲覧可 ( <a href="http://tesc.tch.or.jp/untitled2.html">http://tesc.tch.or.jp/untitled2.html</a> )
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	津山中央看護専門学校
設置者名	一般財団法人 津山慈風会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	<p>校長及び専任教員3名に加えて、経営母体である一般財団法人津山慈風会の幹部職員、教育に関し知見を有する者を加えて年2回の学校関係者評価委員会議を開催している。</p> <p>校長は当該年度の部門目標に対する自己評価結果を評価委員会に報告し、委員から出された意見を次年度の教育活動及び学校運営に活用している。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
一般財団法人津山慈風会	2023年4月1日～ 2025年3月31日	津山慈風会本部職員
民間人	2023年4月1日～ 2025年3月31日	元本校校長
民間人	2023年4月1日～ 2025年3月31日	同窓生・元看護師
教育に関する有識者	2023年4月1日～ 2025年3月31日	元高等学校長
教育に関する有識者	2024年4月1日～ 2026年3月31日	前本校校長
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	津山中央看護専門学校
設置者名	一般財団法人 津山慈風会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p>	
<p>1 年度末に「評価に関する指針とシラバス記載上の配慮事項」を授業担当者に配布し、講師会議における成績概況や学生の授業評価を基に次年度のシラバスを作成している。</p>	
<p>2 シラバスは冊子にして学生・教員に配布し、授業内容及び授業計画を示している。</p>	
<p>3 シラバスの作成：令和6年1月～3月 公表時期：令和6年4月</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本校ホームページにて閲覧可 (<a href="http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html">http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html</a>)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p>	
<p>1 科目の評価にあたっては、それぞれの科目において終講試験単一の方法にならないように、「レポート・課題の提出状況及びその内容」や「授業や実習への取り組み状況」等を加味することを申し合わせている。</p>	
<p>2 年度末開催の講師会議において成績の概況を全講師に公表し、成績評価に係る様々な課題や現況を情報交換する機会を設けている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年度末開催の講師会議において、終了した基礎分野を除く科目について総合点、個人の平均点を算出し、クラス(学年)順位を出している。また、その会議で単位認定を行っている。従って、下位4分の1に入っているかどうかの判定は可能である。</p> <p>基礎分野を除く理由については、「既修得単位の認定」制度を利用して単位認定を申請する学生が出た場合クラス順位を付けられない。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本校ホームページにて閲覧可 (<a href="http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html">http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html</a>)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則の第5章 単位認定 卒業の第21条に、「学校長は本校に3年以上在学し、別に定める単位を修得且つ欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内の学生について卒業を認定する。」と明記しており、この学則は学生全員に配布している学生便覧に掲載し、学生に知らせている。</p> <p>また、2月開催の講師会議に成績一覧を提出し、卒業認定の承認を得ている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本校ホームページにて閲覧可 (<a href="http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html">http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html</a>)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	津山中央看護専門学校
設置者名	一般財団法人 津山慈風会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページにて閲覧可 ( <a href="http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html">http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html</a> )
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		看護専門課程	看護学科（単位制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	103 単位時間/単位	80 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	23 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			103 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		73人	0人	9人	91人	100人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスに年間授業計画、評価方法等を記載し、年度初めに学生に知らせている。講義は教員による知識注入型のスタイルの他、発表形式によるプレゼン、討論、各自のテーマ学習等様々な形式で学習を深めている。
成績評価の基準・方法
（概要） 科目の評価にあたっては、それぞれの科目において終講試験単一の方法にならないように、「レポート・課題の提出状況及びその内容」や「授業や実習への取り組み状況」等を加味している。シラバスに評価方法を記載。
卒業・進級の認定基準
（概要）・各科目の成績は100点を満点として判定し、60点以上で合格とする。 ・専門分野科目の不認定または履修科目の2科目以上の不認定の場合留年 ・3年以上在籍し、必修103単位の科目を修得し、行事及び必要な研修会に出席した者に卒業を認める。
学修支援等

(概要) 学校設立母体による3種類の奨学金制度がある。  
 ①慈風会奨学金 (返還免除制度有り) ②特待生奨学金 (返還免除制度有り)  
 ③育英奨学金 (無利息・返還義務有り)

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	31人 (97%)	1人 (3%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 「社会人基礎力」の養成を本校教育の中心課題として位置づけて、様々な場面で教育している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師資格の取得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89人	4人	4.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 臨床心理士のサポートやチューター制度による個別支援		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護	100,000 円	320,000 円	156,000 円	施設維持費、諸費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「令和5年度学校自己評価」本校ホームページにて閲覧可 ( <a href="http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html">http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html</a> )		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
設立母体である津山慈風会本部職員、元高校長、元本校校長、同窓生を交えた構成メンバー5名で関係者評価を行う。評価項目は、当該年度部門目標について自己評価結果を説明し、評価委員からの意見を次年度教育活動に反映させる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般財団法人津山慈風会	2023年4月1日～ 2025年3月31日	津山慈風会本部職員
民間人	2023年4月1日～ 2025年3月31日	元本校校長
民間人	2023年4月1日～ 2025年3月31日	元看護師・同窓生
教育に関する有識者	2023年4月1日～ 2025年3月31日	元高等学校長
教育に関する有識者	2024年4月1日～ 2026年3月31日	前本校校長
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「令和5年度学校関係者評価」本校ホームページにて閲覧可 ( <a href="http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html">http://tcsc.tch.or.jp/untitled2.html</a> )		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://tcsc.tch.or.jp/">http://tcsc.tch.or.jp/</a>
--